

# 非正規労働者増、低賃金労働者増、株主・大企業役員はほろ儲け 労働者分配を増やし、賃上げ、内需拡大で日本経済を立て直そう!

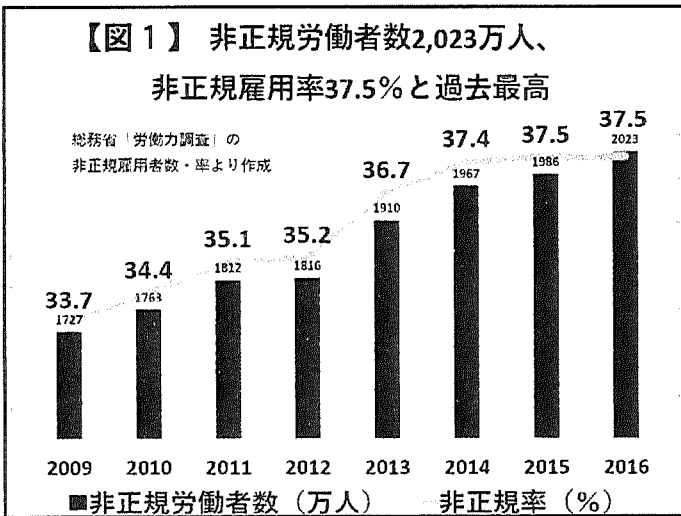
# 東海

No.3173

18. 2 6

国土交通労働組合  
東海建設支部  
教育宣伝部

国民春闘に結集し  
みんなの力で  
大幅賃上げを!



**増え続ける非正規労働「非正規」なくすってホント?**

政府は、「働き方改革」で「同一労働同一賃金」により「非正規」と言う言葉をなくすと言っていますが、毎年のように非正規労働者数は増えつづけ、二〇一六年では二千万人(全労働者の三七・五%)を超える非正規労働者が働いています

政府は、期間ではいざなぎ景気を超える好景気だと言っていますが、国民にはなかなか実感できません。果たして本当に景気がよいのか? 何故実感できないのかを図表から見たいと思います。

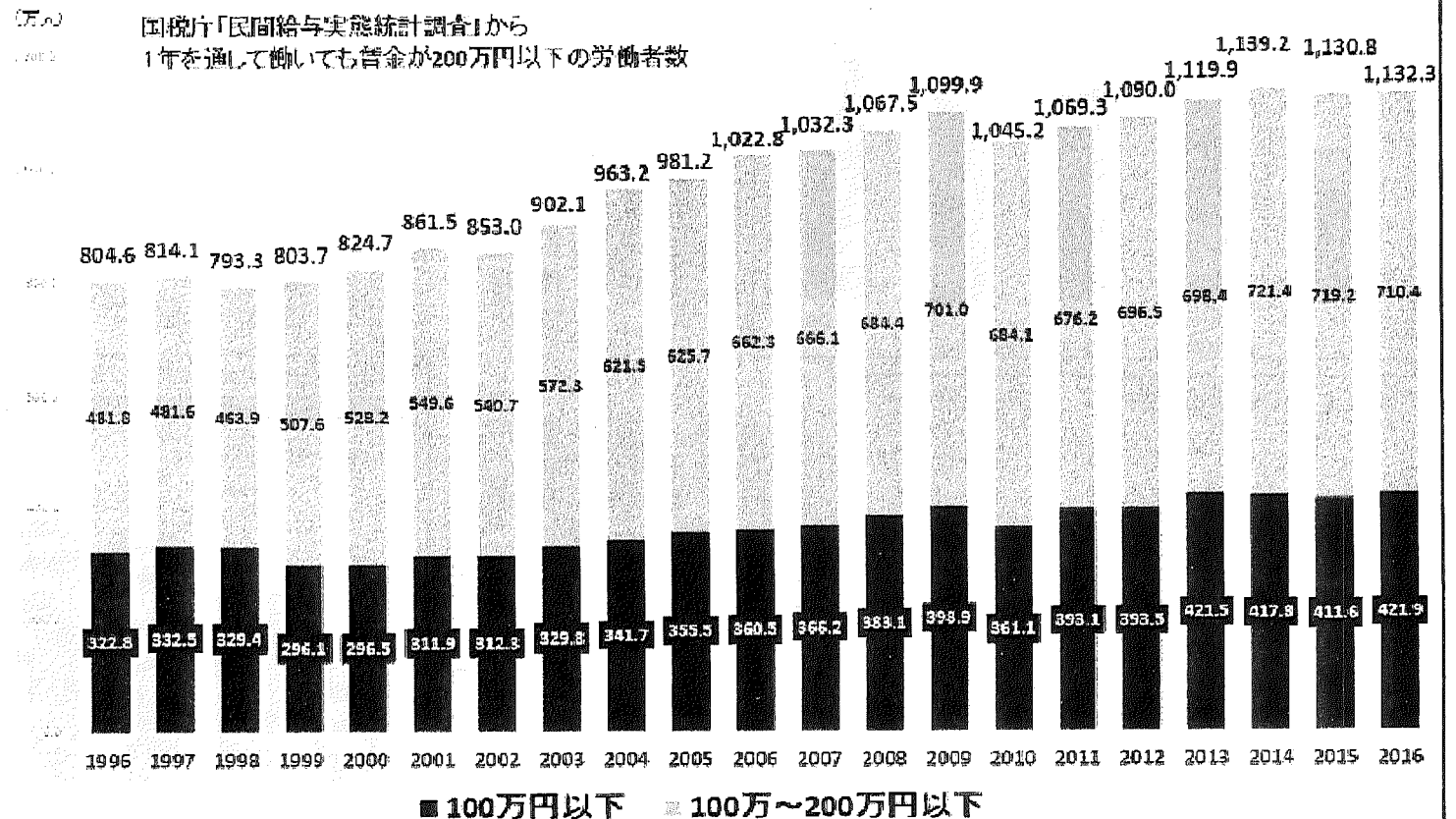
**ワーキングプアも増え続け新卒者・若者の展望は?**

しかし、現状では一千万人を超える労働者が、ワーキングプアと言われる年間賃金二百万円以下の労働者となっており(図2参照)、非正規労働者の半数程度が二百万円以下で働かされていると考えられます。

しかも、四二一万人が百万円以下となっており、ともに二〇一〇年以降増え続

(図1参照)。同一労働同一賃金のガイドラインでは、勤続年数や人事コース等で賃金格差を設けることを認めていますから、「非正規」の言葉をなくすためには、非正規労働者を正規雇用化する以外に道はありません。非正規労働者の賃金水準を上げることで、非正規労働者を雇用する企業メリットを減らし、正規化していく必要があります。

【図2】ワーキングプアは3年連続1,130万人超



けています。このような実態では、家計が楽になるところか、厳しくなる一方であり、新卒者が展望を持って働ける環境にあるとは言えません。ワーキングプアを無くすことが急務です。

それでは、誰が儲かっているのでしょうか？

### 低下する労働者分配率 賃上げは安倍政権の成果？

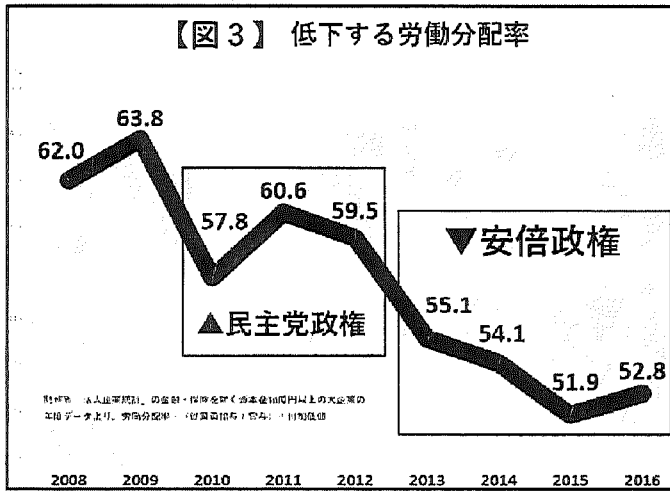
図3のとおり、企業の利益の内、労働者に分配される率は減少傾向にあり、二〇〇九年と二〇一六年を比較すると一ポイントも低下しています。

安倍政権下で賃上げが進んでいるような発言をしていますが、企業の経常利益が上がり始めた二〇〇九年以降を見ても民主党政権時代は五八%程度ですが、安倍政権になって以降下がっています。

### 増え続ける内部留保と株主配当 微減の賃金、おかしくない？

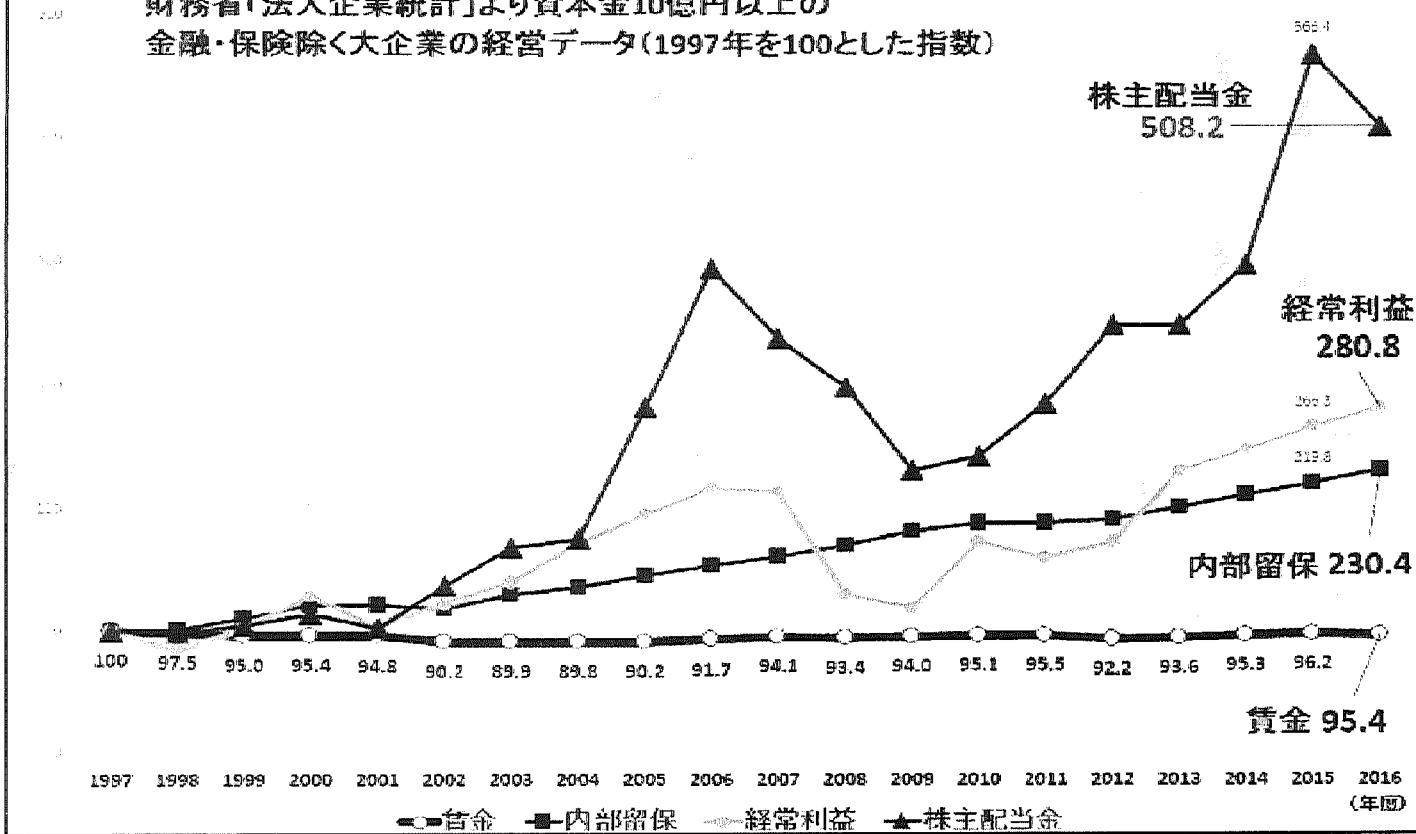
図4を見れば、一九九七

【図3】 低下する労働分配率



【図4】 大企業の利益・株主配当・内部留保は増加、賃金だけ減少

財務省「法人企業統計」より資本金10億円以上の金融・保険除く大企業の経営データ(1997年を100とした指数)



年を一〇〇とした場合の指数で賃金は微減・微増を切り返しながら九五・四に低下しています。一方で株主配当金は五〇八・二に急増しており、内部留保も着実に増加しています。

### 大企業の役員報酬 四年で一・八倍って...

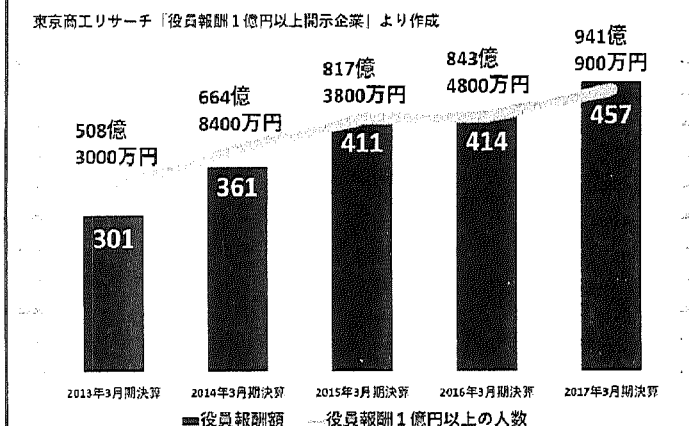
また、図5のとおり、大企業の役員報酬もこの四年

間で一・八倍に増加しています。

一般的に役員は相当数の株を所有していることから利益は、役員等に集中していると考えられます。

【図5】 大企業の役員報酬はこの4年で1.8倍増

東京商工リサーチ「役員報酬1億円以上開示企業」より作成

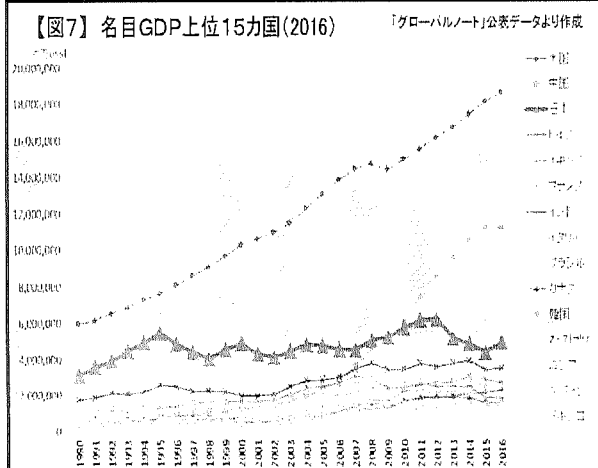


こんな状況下で、内需が拡大される訳はありません。他国が、着実に経済成長を続ける中(図7参照)、日本だけが一九九五年以降GDPは伸びていません。

これだけ景気が良くなるの？ それを裏付けるのが、図6です。この五年間で富裕層上位40人の資産が倍増し、貯蓄ゼロ世帯は、全世帯の三五・三%となっており、二〇一二年と比べれば七・四ポイントも増加しています。

【図7】 名目GDP上位15カ国(2016)

「グローバルノート」公表データより作成



労働総研の試算では二万円の賃上げに一三兆円(内部留保の二・一%)必要ですが、雇用が九三万人、GDPが一五兆円、税収が一・三兆円増加するとされており、賃上げによる内需拡大で日本経済を立て直すことが出来ません。

【図6】 富裕層上位40人の資産が2倍増、貯蓄ゼロ世帯は401.2万世帯増

この5年間で富裕層資産と貯蓄ゼロ世帯数が激増、40人の資産=52%の世帯(2,607万世帯)の資産

